

**宇宙ごみ除去サービスに取り組むアストロスケールが  
「地球へ社会へ未来へ G20 イノベーション展」へ出展**  
～2020年打上げの宇宙ごみ除去衛星「ELSA-d（エルサディー）」一般公開～

宇宙機の安全航行の確保を目指し、スペースデブリ（宇宙ごみ）除去サービスの開発に取り組む、株式会社アストロスケールホールディングス（本社：日本、創業者兼 CEO：岡田 光信、以下「アストロスケール」）は、6月14日から3日間に亘り開催される「地球へ、社会へ、未来へ G20イノベーション展」に出展します。

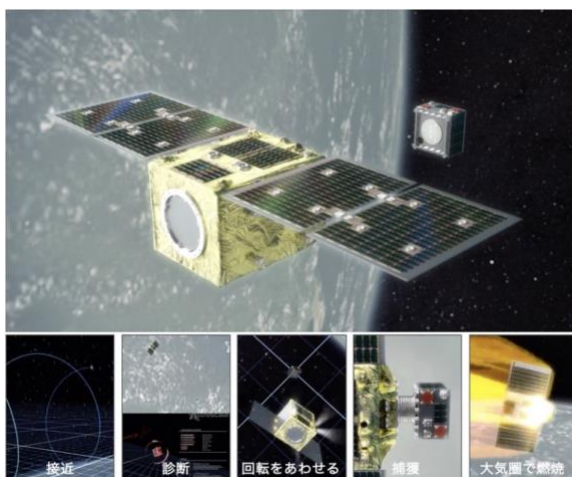
同展示は、日本政府が主催する「持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」の併設イベントで、イノベーションと地域循環共生圏、水素エネルギー、海洋プラスチックごみ対策等のテーマの下、70社以上が取り組みを紹介します。アストロスケールは、2020年に打ち上げを予定する宇宙ごみ除去衛星「ELSA-d（エルサディー）」を出展します。

記

▼「G20 イノベーション展」展示概要

一般公開	2019年6月14日（金）10:00～14:00 6月15日（土）10:00～19:00 6月16日（日）10:00～17:00
会場	長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 軽井沢プリンスショッピングプラザ（駐車場）
主催者	経済産業省、環境省
詳細	<a href="https://www.g20karuizawa.go.jp/">https://www.g20karuizawa.go.jp/</a>

▼出展内容：宇宙ごみ除去実証衛星「ELSA-d（エルサディー）」1/2サイズ模型



左：ELSA-d の捕獲機  
右：宇宙ごみ模擬衛星

現在、宇宙ごみは10cm以上のものだけで軌道上に3.4万個以上存在していると言われていています。宇宙の商業化に伴い、今後10年以内に低軌道上の現存の約3倍量の宇宙機打上げが予測されています。

2020年の実証実験では、宇宙ごみを模擬した人工衛星と捕獲機の2機を打ち上げ、世界で初めて、接近・診断・捕獲と一連のシステムを軌道上で実施します。



### アストロスケールについて

アストロスケールは、宇宙機の安全航行の確保を目指し、次世代へ持続可能な軌道を継承する為、スペースデブリ（宇宙ゴミ）除去サービスの開発に取り組む世界初の民間企業です。2013年の創業以来、軌道上で増加し続けるデブリの低減・除去策として、宇宙機が故障や運用終了を迎えた際の除去（EOL サービス）や、既存デブリ除去（ADR サービス）の技術開発を進めてきました。本社・R&D 拠点の日本をはじめ、シンガポール、英国、米国とグローバルに事業を展開しています。

現在、デブリ除去の技術実証ミッションである、ELSA-d「エルサディー」の2020年打上げに向けて設計・開発に取り組んでいます。

詳細はこちら <http://astroscale.com>

---

### 【本件に対する報道関係者からのお問い合わせ先】

アストロスケール 広報

Eメール：[media@astroscale.com](mailto:media@astroscale.com)

電話番号：（日本）03-6658-8175 | 080-4148-4378 野口